

安全データシート (S D S)

整理番号 : DS0007-0269

作成日 : 2026/02/02

＜供給者情報＞

供給者 : 三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社

住 所 : 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目1番9号

電 話 : 下記番号までご連絡ください。

機種	担当部門	電話番号
放電加工機	EDM事業部	052-719-7121
レーザ加工機	レーザ事業部	052-719-7980
数値制御装置(CNC)	NC事業部	052-722-4076

＜製品名＞

Rクリーナー α (酸性) 4L

Rクリーナー α (酸性) 20L

(以下、「Rクリーナー α 」)

安全データシート

1. 化学物質等及び供給者情報

製品名(化学名、商品名等): Rクリーナー α

会社名 三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社
担当部署 EDM事業部
住所 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目1番9号
電話番号 052-719-7121

推奨用途及び使用上の制限: 放電加工機、及び部品の洗浄剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性

区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器)

水生環境有害性 短期(急性)

区分3

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語:

危険有害性情報:

危険

飲み込むと有害(経口)

重篤な皮膚への薬傷及び眼の損傷

重篤な眼への損傷

呼吸器の障害

水生生物に有害

注意書き: 【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護眼鏡、保護面等、保護具を着用すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

中身を容器から出し入れする場合は、周囲にこぼれないように十分注意すること。

取扱い後は手洗い、うがい等を行うこと。

環境への放出を避け、容器を密閉しておくこと。

指定された用途以外には使用しないこと。

飲み込んだ場合、口をすぐと、無理して吐かせないこと。

直ちに医師の診断、手当を受けること。

皮膚(又は毛髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

【緊急時対応】

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

皮膚(又は毛髪)に付着した場合、直ちに、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当を受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

漏洩の場合には、速やかに適切な方法で回収すること。

火災の場合には適切な消火方法をとること。(粉末、炭酸ガス、泡、等)

容器を密閉して通気の良い所で容器を密閉し保管する。直射日光、高温(40°C以上)多湿を避けて保管。

子供の手の届かないところに保管すること。

アルカリ性物質と一緒に保管してはならない。

【保管】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【廃棄】

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 :
- ・毒物及び劇物取締法 :

成分番号	内 容 (化 学 名 又 は 成 分 慣 用 名)	混合物 対象物ではない					
		含有量 [w t %]	既存化学物質番号	CAS No.	P R T R 法 政令番号	安衛法別表第9 通知物質番号	
1	無機酸	非公開	非公開	非公開	対象外	対象外	
2	りん酸	30%未満	1-422	7664-38-2	対象外	対象外	
3	チオ尿素	1%未満	2-1733	62-56-6	対象外	対象外	

* その他の組成・成分はPRTR法、安衛法に非該当であり明記しない。

4. 応急措置

吸入した場合:

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚に付着した場合:

皮膚に付いた時は直ちに大量の水で洗浄し、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。

洗浄後、医師の診断を受ける。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合は、医師の診断を受ける、洗浄するのが遅れたり不十分だと目の障害を生じる恐れがある。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

腐食性の製品なので、吐き出させるかえって危険が増す。

意識なければ、何も与えず医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発症状:

この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。

最も重要な兆候及び症状:

有用な情報なし

応急措置をする者の保護:

保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。

特有の消火方法:

消火作業は、可能な限り風上から行う。消

火活動を行う者の保護及び予防処置:

消火作業の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具

及び緊急時処置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したりガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項:

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

小量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

残りは大量の水で洗い流す。大量の場合には盛土で囲って流出を防止し安全な場所に

導いてから処理をする。

中和

酸性液体なので、アルカリ(ソーダ灰など)で中和する。

二次災害の防止策:

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

皮膚、粘膜又は衣類に触れたり、目に入らないようにする。

適切な保護具を着用する。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備がある場所で行う。

酸性なのでアルカリ性製品との接触を避ける。

通気の良い場所で容器を密閉し保管する。直射日光、高温(40°C以上)多湿を避けて保管する。

アルカリ性物質と一緒に保管してはならない。

ポリエチレン

腐食性が強いので、ステンレス、鉄等のものは使用できない。

保管

安全取扱い注意事項

適切な保管条件

注意事項

安全な容器梱包材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない。
許容濃度:	設定されていない。
日本産業衛生学会 ACGIH	1mg/m ³ (リン酸として2020年度版) 1mg/m ³ (TWA、りん酸として2012年) 3mg/m ³ (STEL、りん酸として2012年)
設備対策:	局所排気装置、全体換気の設備を使用する。
保護具	取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
呼吸器の保護具:	適切な呼吸器保護具を着用すること。(簡易衛生マスク)
手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。(不浸透性保護手袋)
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること[保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)]
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。[不浸透性保護衣] 素肌が出るところは皮膚保護クリームを塗布する事
衛生対策:	素肌が出るところは皮膚保護クリームを塗布する事 取扱い後はよく手を洗うこと。
	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	20°C 透明液体 沈殿物が発生するが性能に影響なし
臭い:	原料臭
pH:(10%液)	1.3
比重	1.17(20°C)
溶解性・水溶解性:	水に可溶
引火点:	引火性なし
爆発範囲:	情報なし
蒸気圧:	情報なし
密度:	情報なし
自然発火温度:	情報なし
分解温度:	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性:	知見なし
化学的安定性:	通常の取り扱い条件では安定
危険有害反応可能性:	知見なし
避けるべき条件	光に当たると変色する場合がある。
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物:	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	
皮膚腐食性／刺激性	LD50(経口ラット) 5700mg/kg (注意1)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器感作性又は皮膚感作性	重篤な眼の損傷
生殖細胞異変原生	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	呼吸器の障害
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	知見なし
誤えん有害性	知見なし
がん原生	日本産業衛生学会 グループ2B(チオ尿素)

12. 環境影響状況

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生態蓄積性	知見なし
土壤中の移動性	移動する場合がある。
オゾン層への有害性	知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 各都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連分類:	クラス8(腐食性物質、P. G. 3)
国連番号:	3264
国内法規:	船舶安全法 腐しょく性物質 航空法 腐食性物質 荷崩れの防止を確実に行う。
輸送の特定の安全対策及び条件	容器の漏れがないことを確かめ、転倒、落下しないよう丁寧に取り扱う。 直射日光、高温(40°C以上、多湿を避けて取り扱う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

15. 適用法令

火薬類取締法	該当しない
高压ガス保安法	該当しない
消防法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	危険物 該当しない 特化則 該当しない 有機即 該当しない 表示義務対象物質 該当あり 通知義務対象物質 該当あり
化審法	特定化学物質及び監視化学物質に該当しない。 優先評価化学物質 チオ尿素
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
海洋汚染防止法	ばら積み運送 未査定液体物質 個品運送 該当しない
化学物質管理促進法	該当しない

16. その他の情報

注釈1 LD50値	この値は使用する原料のLD50から計算した値です。
参考文献:	中央労働災害防止協会安全衛生情報センター
	製品評価技術基盤機構(NITE)
	各原料メーカー-MSDS
	化学物質管理促進法対象物質全データ
	労働安全衛生法対象物質全データ
	毒物及び劇物取締法対象物質全データ(化学工業日報社)

その他: 記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手出来た資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。
現時点で入手できた情報/資料に基づいて作成していますが、新しい知見の発表や従来の説の改訂及び試験、法令の改正などにより内容に変更や改正が生じことがあります。
本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。
全ての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
本書には通常の危険性や有害性について記載しておりますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは保証出来ません。
記載事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全策をご実施の上、取扱い願います。
ご利用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さるようお願いいたします。
本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないでください。
本品を安全に使用し、すべての法律および規定に準拠することは、取り扱う事業者の責任です。
弊社は使用者の特別な用途での使用、注意事の無視、又は材料固有の性質により生じた障害や損傷には責任を負いません。
本品を取り扱う事業所の事業主は、本データシートに記載されている危険性および従うべき注意事項について、関わりのある従業員および関係者に通知する義務があります。

・以前に収得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、速やかに破棄してください。